

令和元年度事業報告書

平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日

特定非営利活動法人の名称	特定非営利活動法人 こんにちは・国際交流の会
--------------	------------------------

1. 事業の成果

私たちの会は、「日本語教育事業」「国際交流事業」「国際理解事業」を通して日本人・外国人の交流を進め、多文化共生のまちづくりに寄与することができた。

2. 事業報告

定款第 4 条及び第 5 条の規程に基づいて、以下の事業を行った。

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 日本語教育事業

ア 日本語教室

外国籍区民を対象に、年間 3 学期体制で日本語教室を開設し、学習希望者の日本語能力に合わせて、金曜日・土曜日各 4 クラスを設営し授業を実施した。但し、秋学期の土曜日クラスは台風 19 号のため 10 月 12 日の授業を中止、順延した（*1）。また、冬学期は新型コロナウイルス感染対策のため 3 月の授業 2 回を中止、2 月末を以って冬学期終了とした（*2）。今後、災害時の対処策や学習者の連絡先把握など検討が必要。

<金曜日クラス>

- ・ 学期：春学期：令和元年 5 月 10 日～ 7 月 12 日
秋学期：令和元年 9 月 13 日～11 月 15 日
冬学期：令和 2 年 1 月 10 日～ 2 月 28 日（*2）
- ・ 時間：18:30 ～ 20:15
- ・ 場所：鶴見国際交流ラウンジ（初級 A・初級 B・中級）
鶴見区福祉保健活動拠点（読解 A）

<土曜日クラス>

- ・ 学期：春学期：令和元年 5 月 11 日～ 7 月 13 日
秋学期：令和元年 9 月 14 日～11 月 23 日（読解 B 11/30）（*1）
冬学期：令和 2 年 1 月 11 日～ 2 月 29 日（*2）
- ・ 時間：10:00 ～ 11:45（初級 A・初級 B・中級）
18:30 ～ 20:15（読解 B）
- ・ 場所：鶴見区福祉保健活動拠点
- ・ 内容：学習者数は、春学期 99 名、秋学期 113 名、冬学期 72 名で推移した。
 - ・ 春学期、秋学期はほぼ例年通りだったが、冬学期は約 7 割に減少した。
 - ・ 国別では、ミャンマー 20%、ベトナム・フィリピン 15%、中国 13%となった。
 - ・ 曜日別では、金曜日クラス 30%、土曜日クラス 70%となった。残業が増えて、授業に参加できない学習者が増えているようだ。
 - ・ 学習者は、来日間もない人も多い反面、中上級者も多く、常時、学習希望者が訪れる状況であった。
 - ・ 今年度も「クラスリーダー会」を毎学期 2 回、年間 6 回開催し、クラス別課

題や学習者・ボランティアの動向等を共有すると共に、教室運営の課題や提案について検討した。

- ・学習者が地震等の自然災害に対応できるように、初級テキスト16課、中級テキスト鳥版16課を改訂した。
- ・令和元年11月17日(日)、「こんにちは」の日本語ボランティアを対象に『研修会』を開催。初級テキスト16課、中級テキスト鳥版16課を教材として、勉強会を行い、午後は懇談の場を持った。
- ・令和2年3月8日(日)に予定していた「今後の日本語教室のクラス再編成及びテキスト改訂等についての説明会」は、新型コロナウイルス感染対策のため中止した。
- ・「春クラス」「夏クラス」「冬クラス」を開設、学習者のニーズに対応した。
- ・「プライベートレッスン」は現在14組(24名)が継続している。
- ・日本語ボランティアは、春学期30名、秋学期29名、冬学期31名が活動し、年間延べ1,106名が参加した。
- ・本事業は、鶴見区社会福祉協議会の「鶴見区ふれあい助成金」を受けて実施した。

イ 日本語教育委託事業

JFEエンジニアリング(株) 制御技術センター様よりJFE施設内で日本語教室を開設してほしいとの依頼があり、以下の通り実施した。

- ①春学期：令和元年5月8日～7月10日(水)
- ②秋学期：令和元年9月11日～11月13日(水)
- ③冬学期：令和2年1月15日～3月4日(水)(*)

*新型コロナウイルス感染対策のため中断

- ・時間：17:10～18:40
- ・場所：JFEエンジニアリング(株) 会議室
- ・内容：在日JFEテクノマニラ社員を対象として定時退社日の水曜日に各期2クラスを開設した。当会の中級と読解Aのテキストを使って実施した。
- ・学習者数：①28名 ②28名 ③26名

② 国際交流事業

ア 外国人のための防災教室

- ・日時：令和元年6月16日(日) 8:30～17:00
- ・場所：横浜市民防災センター・よこはま動物園ズーラシア
- ・内容：学習者を対象に「防災教室」を開催した。横浜市民防災センターのガイド付き体験コースに参加。災害シアターで、横浜に襲ってくる災害を想定した映像を見て地震対策方法を楽しく学習。地震シミュレーターで、関東大震災や東日本大震災の揺れを体験。また、消火器の使い方体験や減災トレーニングルームでの疑似体験を通じて、知識としてだけでなく実際の対処方法を学習した。災害を知る良い機会となった。外国人が参加しやすいように観光の要素も取り入れ、防災教室の後、ズーラシアで世界中の珍しい動物を見学した。本事業は鶴見区の「共助のための防災活動等補助金」を受けて実施した。

- ・参加者：33名（学習者22、会員11）（外国人22、日本人11）
鶴見区役所担当者1名、川崎市役所担当者1名

イ バス研修旅行

- ・日時：令和元年10月20日（日）7：20～18：30
- ・場所：小田原城、大雄山最乗寺、アサヒビール神奈川工場
- ・内容：会員、学習者を対象に、「お城とパワースポット！」と題してバス研修旅行を企画実施した。小田原城ではNINJA館、SAMURAI館、天守閣を見学。最乗寺では天狗の像や下駄を見てから奥の院へ。最後にビール工場を見学。帰りのバス車中では学習者自身が「ビンゴゲーム」と「お国の歌合戦」の司会進行を務め大いに盛り上がった。国籍やクラスを超えた国際交流の場となった。本事業は「よこはま夢ファンド」の助成を受けて実施した。
- ・参加者：50名（学習者39名、会員11名）（外国人39、日本人11）

ウ 茶道体験

- ・日時：令和元年11月9日（土）13：30～15：30
- ・場所：馬場花木園 茶室
- ・内容：東高校・南高校茶道部のご協力を得て、会員、学習者が2班に分かれて、ゆったりと茶道を体験した。質問タイムでは「どうして茶碗を回しますか」「どんなときお茶会をしますか」など質問が相次ぎ、「日本のおもてなしの心」とのお答えに皆納得していた。お庭は台風被害のため竹林が立入禁止だったが、秋を感じながら散策を楽しんだ。
- ・参加者：35名（学習者27名、会員8名）（外国人27、日本人8）
東高校・南高校茶道部関係者22名

エ 一品持ち寄りパーティー

- ・日時：令和2年2月9日（日）13：00～15：00
- ・場所：鶴見中央コミュニティハウス レクリエーションホール
- ・内容：会員、学習者とその家族がお国自慢の料理を一品持ち寄ってパーティーを行った。大型クルーズ船などでの新型コロナウイルスの流行もあり、参加者は例年より少なかったが、ミャンマー、ベトナム、フィリピンなどの珍しい料理が並び、様々な味と会話を楽しむことができた。クラス紹介、黒髭ゲーム、学習者によるお国の歌、日本の歌、ボランティアによる文法の歌やハーモニカ演奏もあった。和気藹々とした雰囲気で行進し、良いパーティーになった。
- ・参加者：47名（学習者25、会員18、一般4）（外国人28、日本人19）

オ 着物体験

- ・新型コロナウイルスの感染拡大を懸念し、中止した。

③ 国際理解事業

ア 国際理解講座

- ・日時：令和元年7月14日（日）13：30～15：30
- ・場所：鶴見国際交流ラウンジ 研修室A・B
- ・内容：鶴見区民、会員を対象に、「豊かな自然に恵まれて コスタリカ」と題して、講座を開催した。鶴見区に住んでいる唯一のコスタリカ人、読解Bクラスの

マルコス ヘルナンデスさんがお国を紹介した。参加者の感想は「自然エネルギー、エコツーリズムなど、自然と共存していて、軍隊をもっていないことにびっくり」「馴染みがなかったが、親近感がわいた」とのこと。発表者自身も「コスタリカを紹介する機会がもてて、とてもうれしい」と喜んでいた。

本事業は「鶴見区社会福祉協議会区域連携推進事業」として実施した。

- ・参加者：40名（学習者8、会員11、一般21）（外国人8、日本人32）

④ 行政機関及び他団体との協働事業

ア 鶴見国際交流ラウンジの活動への参加

- ・日本語教室運営委員会委員長・副委員長が部会員として、年7回開催の日本語部会に参加し、鶴見区内の日本語教室ボランティアと共に鶴見国際交流ラウンジ主催「日本語ボランティア入門講座」「日本語ボランティア・ブラッシュアップ講座」の企画運営に携わった。「日本語ボランティア入門講座」修了者2名が当会に入会した。
- ・令和元年6月22日（土）夏休み3館オープンデーで鶴見国際交流ラウンジの「パネル展示」に参加、「外国人による日本語スピーチなど」ではベトナム人学習者1名が「日本語の勉強」というタイトルで発表した。

イ 鶴見区社会福祉協議会の活動への参加

- ・地域福祉団体部会員として、理事1名がボランティア・市民活動団体分科会に出席、また「福祉つるみ」の編集委員として編集会議にも出席した。
- ・参加予定だった「第16回 鶴見・あいねっと推進フォーラム」は新型コロナウイルス感染症の拡大を懸念し中止。会員2名が社会福祉功労者として感謝状をもらった。

ウ 鶴見区災害ボランティアネットワークの活動への参加

- ・団体会員として、理事1名が運営委員会に出席、令和2年1月16日（木）6:30～8:30「災害ボランティアセンターシミュレーション訓練」に参加した。

エ 2019年度 鶴見コンシェルジュ養成講座への参加

- ・令和元年8月1日（木）「2019年度 鶴見コンシェルジュ養成講座」（横浜商科大学、鶴見区役所）の「第12回 パネルディスカッション」（鶴見中央コミュニティハウス）に、会長がパネリストとして登壇し、当会の活動を紹介した。

オ つるみ区民活動センターの活動への参加

- ・令和2年3月2日（月）～3月6日（金）、鶴見区内のボランティア団体を紹介する「鶴魅力パネル展」（鶴見区役所ロビー）に参加した。